



建昌っ子だより

[校訓・キャッチフレーズ] 元気で 力のある 建昌の子

2学期の教育活動への御支援 ありがとうございます

校長 坂口 利一

間もなく2学期が終わります。

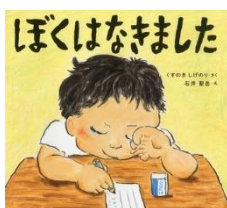
2学期の各学年の学習内容は、その時期の子どもたちの成長の段階に合わせた最も特徴的な内容を学習する学期でした。また、多くの学校行事を通して、心や態度の面の成長を促す学期でもありました。

子どもたちは、学校での学習(様々な活動)経験から教科等の内容と共に、自分を見つめ、友達や自分の周りの多くの人たちのことを考え、行動する態度も身に付けてきました。

このように、それぞれが成長できたのも保護者をはじめ地域の方々・関係機関の御支援があったからこそと感謝しております。

冬休みは、御家庭や地域で様々な行事が計画されていることと思います。そして、この時期だからこそ学べるがたくさんあります。

家庭での大掃除やお正月準備の手伝い(子どもの仕事として)・地域の方々や親戚の方へのあいさつ(自分から・気持ちよく)・地域の伝統行事への参加など、家庭や地域で子どもたちに身に付けさせたい、伝えたい大切なことをたくさん経験させてください。そこから、人と人とのつながりや自分のふるさとを大切にすることが大きく育っていくものと思います。



自分にはよいところがある!

『ぼくはなきました』は、くすのきしげのりさんの絵本です。この本のあとがきに、次のような文章が添えられています。

『自分のいいところが見つけれないそうた君。友達の良いところはたくさん見つけられるのに。そうた君は泣きそうになります。そんなそうた君のいいところを先生は見つけてくれました。それは「友だちのいいところをたくさん見つけられる」ことでしたね。一人一人いいところがあります。皆さんも自分のいいところが見つかりますように。』

「自分のよいところはここです!」と素直に言えないのも分かります。大人でも「自分のよいところを言ってください」と問われると、ちょっと考えてしまいます。でも、大人になっても、褒められることはやはり嬉しいことです。「自分はそんなふうに見てもらっているのか」と、自尊感情も高まります。学校でも家庭でも、大人同士も、お互いの長所を素直に認め合い、伝え合い、高め合える関係でありたいものです。年末年始のふれあいの中で、「そこがいいね!」「すごいね!」の声かけをお願いします。